

イザベル・カンピオン指導の“音楽家の為の運動療法” 11月開講

2013年9月7日

コンセール・パリ・トーキョウは、本年11月に 音楽家の為の運動療法(kinesithérapie pour les musiciens) の講座を開催致します。

講師のイザベル・カンピオン(Isabelle Champion)は、フランスの音楽家専門の運動療法士(kinesithérapeute pour les musiciens)です。彼女は、ピアニストのミッシェル・ペロフやジャン＝エフラム・バヴゼの演奏機能回復に寄与したパリの「音楽家の為のクリニック”la Clinique du Musicien et de la Performance Musicale”」所属の運動療法士です。

カンピオンが所属する、パリの「音楽家の為のクリニック」は、フォーカル・ジストニアや腱鞘炎等のトラブルを持つ音楽家にリハビリを指導する場でもありますが、同時に、身体の構造を知って、より良い演奏法を習得したいと考える音楽家を指導する場でもあります。

フランスの演奏家は不調に気が付くと、音楽家の為の運動療法の指導を受けています。音楽家の為の運動療法は、日本では未だ知られておりませんが、演奏の質向上の為に欠かせないものと考え、コンセール・パリ・トーキョウは2008年より、この企画を続けております。

注:フォーカル・ジストニアは、痛みを伴わない筋肉の不随意症状です。鍵盤楽器・弦楽器の場合は手に、管楽器の場合は口唇と手に現れます。

本年は下記の3種の講座を開講する予定です。

1、「音楽家の為の運動療法” グループ講座」(2009年からの継続企画)

この講座は、2009年から継続して企画している形式で、受講者1名と見学者数名のグループで“音楽家の為の運動療法”を学ぶ講座です。(受講者の希望に依り、非公開に出来る時間枠も作っております。)

本来、この講座は、トラブルの有る演奏家と共にトラブルの無い演奏家も対象とするものですが、ここ数年は、「トラブルの無い演奏家」の為の枠を少なくしておりました。それは、フォーカル・ジストニアに悩む方々からの希望が多かったことからでしたが、今年は、「トラブルの無い演奏家」も対象とする講座と致します。

フォーカル・ジストニアについての知識は、ここ数年でかなり広まりましたので、フォーカル・ジストニア等のトラブルを予防する演奏方法の普及にも取り組むべき時期が来たと考えているからです。

音楽家は或る意味「肉体労働者」です。その肉体を合理的な使い方をするのが肝要であります。この講座は、良い演奏をする為に欠かせない「合理的な身体の使い方」を学ぶ講座です。

日時・場所:

11月13日(水)午前 マinspace アспиа Аスタジオ (京王新線幡ヶ谷駅北口から徒歩2分)

Tel.03-3374-6666 <http://www.velatec.co.jp/aspia/index.html>

11月21日(木)午前・午後 渋谷区文化総合センター大和田(渋谷駅西口から徒歩5分)

ホール事務室 Tel.03-3464-3251 <http://www.shibu-cul.jp/>

11月22日(金)午後 渋谷区文化総合センター大和田(渋谷駅西口から徒歩5分)

ホール事務室 Tel.03-3464-3251 <http://www.shibu-cul.jp/>

対象:フォーカル・ジストニアの方を含む全ての演奏家

受講料金:15,000円(1コマ:50分)

募集時期:2013年10月初旬予定

* 通訳:黒木梨沙(ピアニスト)、伊予田裕子(ピアニスト)、福本しのぶ(ハーピスト)

2、「フォーカル・ジストニアの方の為の1日講座」(2012年創設講座) ←募集終了

2009年から継続して企画している「音楽家の為の運動療法”グループ講座”(上記)を受講されたフォーカル・ジストニアの方から意見や希望をうかがって、2012年に創設した講座です。

1日をフルに使うこの講座は大変好評でしたので、今年も企画致します。

内容は、体操(全身)、エクササイズ(腕、指等)、個人指導の公開レッスン、ディスカッション等。

日時:11月12日(火) 10時~17時 (昼休み約1時間を含む)

場所:マinspace アспиа Bスタジオ

参加条件:フォーカル・ジストニアの症状がある方で、全時間帯出席出来る方

定員:8名 (最少催行人数:6名) ← 定員に達しました。

受講料金:25,000円

通訳:福本しのぶ(ハーピスト)

3、「全ての演奏家の為の“アトリエ”」(2012年創設講座)

楽器演奏する時に、より良く身体を使えるようになる為のエクササイズを実践する講座です。肩甲骨や上肢帯の働かせ方、呼吸の方法等の指導を致します。このエクササイズは、トラブルの予防手段にもなり、また、痛みや腱鞘炎の治療の一つの手段にもなるものです。

こちらも好評でしたので、今年も企画致します。

今年は、この形式の講座が東京藝術大学(藝大)でも行われます。(対象は藝大の学生)

日時: 11月22日(金)9時半～11時半

場所: 渋谷区文化総合センター大和田 大練習室

対象: フォーカル・ジストニアの方を含む全ての演奏家、音楽指導者

定員: 20名

受講料金: 4,800 円

募集時期: 2013年9月予定

通訳: 福本しのぶ(ハーピスト)

《イザベル・カンピオン (Isabelle CAMPION) プロフィール》

運動療法士、アマチュアチェリスト。

楽器演奏時に苦痛を伴う多くの演奏家の治療に当たっている。

2000年より演奏家のパフォーマンスや健康に焦点を当て、運動医学を専攻、また芸術医学のディプロムを取得。2002年より「音楽家の為のクリニック」勤務。そこで演奏家の職業疾患とその予防、テクニックや音楽表現のための動作の最適化、“あがり”の克服の研究、指導をしている。また、フランス国内外での講演会、オーケストラ、音楽教育機関でのトレーナーとしての活躍など、音楽に関する活動に大きな情熱を注いでいる。

日本では、2009年よりコンセール・パリ・トーキョウ企画の講座で講師を務め、2010年からは毎年1回、東京藝術大学に於ける特別講座の講師を務めている。

講座の詳細は、コンセール・パリ・トーキョウのサイトをご覧ください。

<http://www.concert-paris-tokyo.com/>

下記ブログにも掲載しております。

<http://paris-tokyo.cocolog-nifty.com>